

## <参考1> 検討プロジェクトの活動経過（解説集作成の経過）

ハーモニーでの報告内容等をふまえて、検討プロジェクトの活動経過及び本解説集作成の経過をまとめました。ここに紹介いたします。

### ●第1回会合（2004年10月9日／第12回学術集会・熊本）

\*検討プロジェクトの役割、進め方、用語集（仮称）発行までのスケジュールの確認。  
資料収集・分析の分担。

### ●第2回会合（2004年11月14日／日本学校保健学会・新潟）

\*収集・分析した文献及び資料から用語に関する課題の整理。さらなる分析の分担。

↓

### ◎ハーモニー第36号（2004年12月10日発行）にて研究経過の報告

○概要：成果は学会誌第10巻第1号に掲載する予定である。用語は20～30語程度の必要最低限のものをリストアップする。

### ●第3回会合（2005年1月9日／名古屋）

\*用語抽出にむけた方法の検討。用語抽出の枠組み（4つの水準）の確認。分析対象とする近年3年間の出版物とその分担の確認。

#### <分析対象とした出版物>

- 学会誌：日本養護教諭教育学会誌，学校保健研究
- 用語集：日本学校保健学会「学校保健用語集」
- 実践報告：全国養護教諭研究大会集録，全国学校保健研究大会集録，全国養護教諭連絡協議会「瑞星」，国立大学附属養護学校研究集録
- 専門書：「養護概説」関連図書
- 雑誌：健康教室，健，健康な子ども，保健室

### ●第4回会合（2005年3月21日／名古屋）

\*用語抽出の枠組み（5つの水準）の確認。会員の意見集約にむけた提案内容の整理。

↓

### ◎ハーモニー第37号（2005年5月31日発行）にて報告し、意見募集（6月30日〆切）

○概要：用語は20～30語に絞り込み、その説明文を作成すること、英語については表記のみとすることを再確認した。「実践報告書」「学会誌」「用語集」「専門書」「雑誌」等の分析から、検討すべき用語の抽出を進めている。以下のような「5つの水準の考え方」と「各水準にあげた用語」への意見をお願いしたい。

#### <第0水準：基本となる用語>

養護（養護をつかさどる）、養護教諭、養護教諭教育、養護学、保健室、保健室経営、学校保健経営、学校保健

#### <第1水準：非常に混乱を招いているもの>

健康相談活動、救急処置、保健室登校（別室登校）、健康教育（保健学習・保健指導・性に関する指導）、連携（情報連携・行動連携）、組織活動、コーディネート（協同）、危機

管理（安全面・生徒指導面）

<第2水準：既存の用語で概念整理が必要なもの>

養護実習，健康診断，保健管理，健康観察，頻回来室，発育・発達課題（支援）

<第3水準：定義づけが改めて必要なもの>

養護実践，養護診断（見きわめ・判断・アセスメント・査定），養護活動過程

<第4水準：養護教諭の視点から概念整理が必要なもの>

資質，執務，職務，観（ビジョン），能力，力量，特質，職能，健康課題・健康問題，健康リテラシー，ヘルスプロモーション（健康づくり），アセスメント・査定・評価

### ●第5回会合（2005年7月18日／名古屋）

\*5つの水準をA～E分類と呼称変更。32語の解説等作成の分担。学術集会での中間報告内容等の確認。



#### ◎ハーモニー第38号（2005年9月1日発行）にて報告

○概要：会員から「5つの水準の考え方」と「各水準にあげた用語」についての意見はなかったが，分類を一部変更し，抽出語は32語に再整理した。

<A. 養護教諭の専門領域において基本となるもの>

養護，養護教諭，養護教諭教育，保健室，保健室経営，学校保健，学校保健経営

<B. 類似する用語が多く，その意味が明確でないもの>

健康相談活動，救急処置，健康教育，保健管理

<C. 既存の用語であるが，意味や用法を再確認したいもの>

養護実習，健康診断，健康観察，組織活動

<D. これからの養護教諭にとって定義づけておくとよいと思われるもの>

養護学，養護実践，養護診断，養護活動過程，保健室登校

<E. 一般的に用いられているが，養護教諭特有の使い方が見られるもの>

資質，職務（執務），観（ビジョン），能力，特質，健康課題（健康問題・発達課題），ヘルスプロモーション，アセスメント，連携，支援，コーディネート，危機管理

### ●第6回会合（2005年9月11日／名古屋）

\*各用語の説明様式の検討。中間報告内容の再確認。例示に用いる「養護教諭教育」と「健康相談活動」の内容の検討。



#### ★中間報告（2005年10月9日／第13回学術集会・女子栄養大学坂戸キャンパス）

○抄録集に掲載のとおり。

### ●第7回会合（2005年10月9日／第13回学術集会終了後）

\*中間報告に対する意見の確認。検討課題の整理。



#### ◎ハーモニー第39号（2005年12月10日発行）にて報告

○概要：第13回学術集会で中間報告を行い，専門用語を抽出した経緯と抽出用語の分類，抽出用語の一覧について報告した。用語解説の様式（語意や使い方の説明等）を「養護教諭教育」「健康相談活動」の説明文（案）から例示した。会場からの意見を

受けて、次のような検討課題を確認した。

- ①抽出用語の分類の枠組みで、「B.類似する用語が多くその意味が明確ではないもの」「E.一般に用いられているが養護教諭特有の使い方が見られるもの」という表現を再検討する。
- ②E分類にあげた用語をはじめとして、抽出用語が適切であるかを確認する。
- ③抽出用語は、養護教諭の実践記録や論文から抽出した用語であることを明確にするために抽出根拠となった具体例を示し、養護教諭の実践と結びついていることを示す。
- ④用語解説の様式は、例示したとおり定義と解説に分ける。定義は短く示し、その後の解説では、経緯、特色、類義語等を示す。
- ⑤すでに学校保健用語辞典や中央教育審議会でも示されている用語も、学会の立場から再検討した上で説明に用いるなど、用語の解説は慎重に行う。

●第8回会合（2006年1月7日・8日／名古屋）

\*各用語の定義及び解説（類義語の説明を含む）の検討。資質と能力は合わせて一語に変更（よって31語）。

●第9回会合（2006年5月27日／名古屋）

\*各用語の定義及び解説（類義語の説明を含む）の検討。特質の削除（よって30語）。

↓

◎ハーモニー第40号（2006年6月14日発行）にて報告

○概要：各用語の検討を進めている。

●第10回会合（2006年7月1日／名古屋）

\*各用語の英語表記の検討。定義の検討。書き方の様式の確認。

↓

◎ハーモニー第41号（2006年9月1日発行）にて報告し、意見募集（9月25日〆切）

○概要：第14回学術集会（名古屋）での最終報告にむけて、30語の「英語表記、キーワード、定義」のみをまとめた一覧表を同封した。いただいた意見を反映させて、当日の配付資料（用語ごとの英語表記、キーワード、定義、解説文）を作成する。

↓

★最終報告（10月8日／第14回学術集会・名古屋国際会議場）

○抄録集に掲載のとおり。

●第11回会合（2006年11月25日・26日／名古屋）

\*用語集（仮称）発行にむけた各用語内容の最終的な検討。

↓

◎ハーモニー第42号（2006年12月15日発行）にて報告し、意見募集（1月15日〆切）

- 概要：第14回学術集会で「英語表記・定義・キーワード」に「解説」を付記した原案を配付した。プロジェクトの検討経緯、事前配付した「英語表記・定義・キーワード」に対する会員8名からの意見なども報告して、フロアから意見をいただいた。
- 便宜的に各用語に1～30までの番号を付記してきたが、改めて下記のような4グループに区分した。特に③や④に位置づく用語では、一般的な説明にとどめず、養護教

論の専門性にどのようにかわるのかを明記することで「養護教諭の専門領域に関する用語である意味」を明らかにすることにした。

○ 10月の学術集会にて配付した「養護教諭の専門領域に関する用語の解説(案)」をHPで開示した。ご意見をお願いしたい。

<①養護や養護教諭という言葉が含まれている養護教諭固有の用語> (11語)

養護, 養護教諭, 養護教諭教育, 養護実習, 養護学, 養護実践, 養護診断, 養護教諭の活動過程, 養護教諭の資質・能力, 養護教諭の職務, (養護教諭の) …観

<②養護教諭の専門性を示す上で欠かせない用語> (7語)

保健室, 保健室経営, 学校保健, 学校保健経営, 健康相談活動, 救急処置/救急処置活動, 保健室登校

<③健康に関する事柄であり学校という視点が必要な用語> (6語)

健康教育, 保健管理, 健康診断, 健康観察, 健康課題, ヘルスプロモーション

<④一般的に使われる言葉であるが養護教諭にとって重要な意味をもつ用語> (6語)

組織活動, アセスメント, 支援, 連携, コーディネート, 危機管理

●第12回会合 (2007年2月22日/東京)

\*用語の掲載順の確認。用語集(仮称)の構成の検討。



★解説集<第一版>の発行(2007年3月26日)と発送

## <参考2> 本学会の英語表記について

会員の増加に伴い、「日本養護教諭教育学会の英語表記に関する検討の経緯について」(学会誌第7巻第1号, P.95-P.102, 2004に理事会が掲載)をご存じない人が増えてきました。ここに概要を紹介いたします。

本学会は、第5回総会(1996年・郡山市)において、全国養護教諭教育研究会から日本養護教諭教育学会へと名称変更した。これに伴って規約改正を協議した第6回総会(1997年・刈谷市)では、第1期(1997年度～1999年度)の理事会より日本養護教諭教育学会の英語表記として“Japan Educational Society for School Nursing Teacher”が提案されたが、種々議論の結果、再検討となった。

その後、国内外における養護教諭に関連する演題の学会発表が活発化し、国際化の動きもあって「養護教諭」を英訳する人が増えてきたが、その表現は各自に任されていた。本学会では、1998年に学会誌を創刊したが、「養護教諭」の英語表記についての検討が終わっていなかったため、学会の名称及び学会誌の名称をどのような英語で表現するかが懸案事項として残されていた。

このような経過から、第2期(2000年度～2002年度)の理事会は新たな検討作業に入り、理事7名と会員11名(募集に対して応募があった人)によるワーキンググループを発足させた。検討結果は第10回総会(2001年・葉山町)で提案され、養護教諭の英訳名を“Yogo teacher”とすること、学会の英語表記を“Japanese Association of Yogo Teachers (J.A.Y.T.)”と

することが原案通りに承認された。なお、その折に要望が出された“Yogo”を説明する英語文の作成が新たにワーキンググループに課せられた。

第12回総会（2003年・徳島市）において、下記のようなYogo Teacherの英語説明文と日本養護教諭教育学会の新たな名称が提案され、承認された。

**○日本養護教諭教育学会会則**

（名称）

第1条 本会は日本養護教諭教育学会（Japanese Association of Yogo Teacher Education : 略称JAYTE）と称する。

**○Yogo teacherの英語説明文**

A “Yogo teacher” is a special licensed educator who supports children's growth and development through health education and health services on the basis of principles of health promotion all areas of educational activities in school.

日本養護教諭教育学会  
養護教諭の専門領域に関する用語の検討プロジェクト

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ○後藤 ひとみ (愛知教育大学)     | ○植田 誠治 (茨城大学教育学部) |
| 浅利 恵子 (青森県立弘前第一養護学校) | 岡田 加奈子 (千葉大学教育学部) |
| 鎌田 尚子 (女子栄養大学)       | 河田 史宝 (金沢市立北鳴中学校) |
| 駒田 玉美 (三重県教育委員会)     | 鈴木 裕子 (横浜市教育委員会)  |
| 徳山 美智子 (大阪女子短期大学)    | 林 典子 (磐田市立豊田中学校)  |
| 古田 扶三子 (岩倉市立岩倉中学校)   | 堀内 久美子 (名古屋学芸大学)  |

○印は代表, ( )内は2007年3月現在の所属